

年長保護者各位



認定こども園 国学院大學栃木二杉幼稚園

栃木市立美術館に行ってきました。
是非、ご家族で行かれて下さい



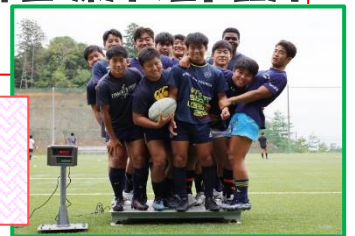
栃木市立美術館について・・・

栃木市立美術館は、隣接する栃木市立文学館とともに「とちぎの歴史・文化・芸術を、みんなで楽しみ、広め創る拠点」をコンセプトとして、旧栃木市役所本庁舎跡地に建設され、令和4年11月3日に開館しました。

浮世絵師・喜多川歌麿をはじめ、明治以降に活躍した清水登之、田中一村、刑部人、鈴木賢二らの絵画や二代飯塚鳳齋、飯塚琅玕斎らの竹工芸など、市ゆかりの作家たちの作品を収蔵しています。これらの作品を収蔵品展で紹介するとともに、企画展を開催し国内外の優れた作家の作品を展覧します。

今回は、「キックオフ・プロジェクト」と銘打った市民参加型のワークショップ

「1トンになる」と「とちぎを藍で染める」を開催しています。その成果を、美術館の開館と合わせてお披露目します。また、喜多川歌麿の肉筆画「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」の高精細複製画を3年ぶりに展覧します。



そこで、子供たちの藍染めが展示されているので観てきました。
また、「1トンになる」と実際にみんな乗って挑戦しました。



県庁堀は、とっても
気持ちいいね(^^)

係の方が話をし、全て案内して下さいました。



藍染は、何処かな



展示室Bに作品がありました



藍の種を顕微鏡で見たよ



大きな鯉のぼりやのれんにビックリ





藍の木がきれいに紅葉して
いました！



文学館の回りも散歩しました



鯉もいて、噴水も素敵でした



県庁堀にかもが
気持ち良さそうに
泳いでいるね！



自然石に山本有三の名著「路傍の石」の一節が刻まれている 謙信平の一隅には、本市の生んだ文豪、山本有三の文学碑があり、自然石に名著「路傍の石」の一節が刻まれている。

「たったひとりしかない自分を たった一度しかない一生を ほんとうに生かさなかったら 人間うまれてきたかいがないじゃないか」

この碑は、有三が昭和 35 年（1960）に栃木市名誉市民に推挙されたことを記念して建てたもので、昭和 38 年（1963）3 月 9 日の除幕式には、有三（当時 78 歳）本人が出席している。